

令和元年度(2019年度)「熊本市被災小規模事業者持続化支援事業」の3次募集開始

熊本地震の影響を受けた市内の小規模事業者等が実施する、IT・IoTの活用や高性能の機械装置等の導入による業務効率化（生産性向上）のための取組に対し、一部補助を行います。

【1. 事業の目的】

平成28年熊本地震の影響を受けた市内小規模事業者が実施する業務効率化（生産性向上）のための事業に対し一部助成することにより、小規模事業者の早期復興を支援し、もって本市商工業の振興を図ることを目的とする。

【2. 事業概要】

《補助対象者》

熊本市内に所在する、平成28年熊本地震の影響を受けた小規模事業者等

（ただし、平成30年度熊本市被災小規模事業者持続化支援事業に採択され、補助金の交付を受けた事業者は、別事業の場合のみ対象とする。）

《補助対象事業》

策定した「経営計画書」に基づく、IT・IoTの活用や高性能の機械装置等の導入による**業務効率化（生産性向上）のための取組**

ただし、機械装置等の導入については、従前の状況と比較して**業務効率化（生産性向上）の効果が見込まれることが具体的かつ明確に示されたものを対象**とする。

なお、**車両やパソコンなど汎用性が高いもの、既存設備等の単なる買い替えは対象外**となる。

※商工会または商工会議所の助言・指導等の支援を受けることを必須とする。

《補助率等》

補助率	1/2
補助上限額	100万円 *ただし、共同事業の場合の補助上限額は「1社あたりの補助上限額（100万円）×小規模事業者数」の金額となります。（複数事業者の場合は上限1000万円） *千円未満の端数が発生した場合は、これを切り捨てます。

《募集期間》 ※市内の商工会又は商工会議所へ申請

三次：令和元年（2019年）10月21日（月）～令和元年（2019年）11月22日（金）

《申請書等》

募集要項や申請様式等については、熊本市HPよりダウンロードをお願いします。

《参考事例》

【IT・IoTの利活用】

- ①クラウドサービス導入
ペットの顧客カルテ管理システムを導入、飼っている犬の頭数・種類・病歴・実施サービス等詳細なデータをクラウド管理し全店舗で共有することでペットごとのオーダーメイド型高品質サービスを提供。
- ②電子レシート導入
専用アプリ（Fin Techサービス）を会員に提供、レジでスマホ画面のバーコード読み取りによりレシート情報がデータセンターに保管される仕組みを構築。
- ③タブレット端末型レジ導入
専用アプリ（Fin Techサービス）で、売上・空席をリアルタイムで把握、メニューの売れ筋把握や店舗ごとの比較情報分析を行い、経営を見える化。
- ④多言語翻訳システムの導入
外国人観光客等の外国人顧客に対して、多言語翻訳システムにより、スムーズな対応が可能。顧客ニーズの正確な把握。接客時間の短縮。

【機械装置等の導入】

- ①高性能の調理器具の導入
調理時間の短縮、調理量の増加により、生産コストの縮減、作業効率の向上により生み出される人員の他業務への割り当て。
- ②商品の自動包装機導入
商品包装を自動化することで、作業の精度向上、全体作業の削減により生み出される人員の他業務への割り当て。

【サービス提供等プロセスの改善】

- ①店舗等の改装